



宇都宮駅 (昭和33年)

JR (旧国鉄) 宇都宮駅の今昔。

昭和33年の写真は、鉄筋コンクリート総2階建ての4代目駅舎。1階は、改札や待合室などの駅施設で、2階は駅デパートの食堂や売店などがあり、当時としては関東随一を誇る近代的スタイルの駅でした。

現在の駅舎は、昭和57年の新幹線開業に備え昭和55年に完成した6代目です。

宇都宮の玄関口として歴史を刻んできた宇都宮駅は、今年の7月16日に、開業130周年を迎えます。



はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

宇都宮から世界へ跳躍

ロシア世界水泳出場

JSS宝塚 岡本

優さん



今月7月25日～8月9日に、カザン（ロシア）で開催される世界水泳の男子高飛込に出場する岡本さん。2月の代表選考会で1位になり日本代表に選ばれましたが、「大きなけがを押しのけたので、とても厳しい戦いだったので、喜びも格別でした」と振り返ります。小学4年生のときに飛び込みを始め、中学・高校・大学と全国大会で優勝を手にするなど、着実に実力を付けていきました。けがや失敗などの挫折もありましたが「悪いことも含めて、無駄なものなどない。全て

は受け止め方次第だ」と前向きに捉え、取り組むことを信条としてきました。

現在は兵庫県に住んでいますが、「宇都宮出身であることを誇りに思っていますし、帰ったときの温かい空気と特別な時間の流れにはいつもエネルギーをもらっています」と、地元への思いを話します。

「世界水泳で上位12人に入れば、2016年のリオ五輪出場の内定につながります。勝ちにこだわる強い気持ちを持って試合に臨みます」と、宇都宮から世界の舞台へ跳躍する岡本さん。その活躍から目が離せません。

